

令和3年度 第3回長野市農業振興審議会 議事録（概要）

開催日時 令和4年1月13日（木）午前10時から午前10時50分まで

開催場所 長野市役所第二庁舎10階会議室203

出席者 委員13名、傍聴5名（うち報道関係1社）、事務局（市職員）12名

次第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）第二期長野市農業振興アクションプラン案の市民意見募集（パブリックコメント）の結果等について

（2）第二期長野市農業振興アクションプランの答申について

（3）その他

4 閉会

議事（概要）

（1）第二期長野市農業振興アクションプラン案の市民意見募集（パブリックコメント）の結果等について

（2）第二期長野市農業振興アクションプランの答申について

資料1、資料2-1及び資料2-2に基づき事務局から説明

質疑

（委員）農振地域内の畑でぶどう栽培を始めて7年経つが、隣接する住民から苦情を受ける。資料1のNo.4の意見への市の考え方に加え、住宅の建築から期間が経過した農家住宅について、何らかの形で農振地域の事情を話していただければありがたい。

（事務局）資料1の市の考えで示しているように、農振地域の中でどのように暮らすのかという問題にも関わることであるので、市の関係課と連携して解決に関与していきたい。また、状況に応じ個別に対応させていただきたい。

（会長）そのほかに意見がなければ、答申内容の採決をとりたい。賛成の委員は、挙手願いたい。

（全員賛成）

（会長）委員全員の賛成をいただいたので、審議会の意思として、この内容を市長に答申する。

(3) その他

(委員) 第二期農業振興アクションプラン答申案の7ページの実施状況の評価(3)に関連して、事業実施には予算が必要であり、予算編成が厳しいことは承知しているが、引き続き着実に事業を進めていただきたい。

(会長) 計画を立てるだけでなく実行していくことが大事である。第一期の農業振興アクションプランは、優れた内容であるが、実際に投じられた予算が十分であったかどうか。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症対応や経済状況等により市全体の予算が縮小している中での予算編成となっている。厳しい財政事情ではあるが、引き続き農業の振興に努めていきたい。

(委員) 農福連携推進事業について、市から送付された「農福連携のススメ」を読み、農業公社をとおして水田作業を依頼した。残念なことに当日の降雨のため作業を実施できなかった。

その後の「農福連携のススメ」から、農家が依頼しやすいよう工夫していただいているので、今後も力を入れてほしいと思う。

(事務局) 農業公社の農福連携コーディネーターを中心に事業を進めている。作業の細分化や従事者の適性が見極めが、非常に大切で、実地で作業を積み重ねながら、農家の皆さんが依頼しやすいものにしていきたい。

農福連携事業を広げるために、利用しやすく、また、多くの方の目に触れるよう広報活動をしていきたい。農家、障害者、市民に皆さんに、農福連携事業を広く伝えていきたい。

また、障害者の皆さんに農作業に慣れていただくために、体験会なども実施している。現在、農業公社では、お手伝いさん事業が主流であるが、ゆくゆくは農福連携事業をお手伝いさん事業並みに広めていきたいと考えている。

(委員) 第二期農業振興アクションプランを通じて、市長の農業に対する理解を深めていただけるようお願いしたい。

(事務局) 就任直後に市内及び東京でトップセールスを行ったように市長は農業に高い関心を持っている。

(委員) 資料1のNo.1にあるように、新たな担い手の確保は、大きな課題だと考えている。繁忙期に短期で作業を依頼しており、その際にトイレの設置が問題になる。これまでは畑の隅ということもあったが、女性や若い世代の人には受け入れにくい。公共のトイレがあれば、女性や若い世代の農作業従事へのハードルも下がると思う。

(事務局) お手伝いさん事業の参加者から同様な要望がある。また、農業体験を受け入れる農家も苦慮していると聞いている。関係者と話しながら解決の方法を探していきたい。